

## 1 外国語活動における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

### (1) 小学校外国語活動実施状況調査から

#### ① 児童の意識について

- ・ 英語の授業が「好き」、「どちらかと言えば好き」と答えた児童の割合は 71.7%である。(第 5 学年では 77.0%, 第 6 学年では 66.5%である。)
- ・ 英語が「使えるようになりたい」、「どちらかと言えば使えるようになりたい」と答えた児童の割合は 91.5%である。
- ・ 英語の勉強が大切だと思っている児童の割合は、83.7%である。
- ・ 児童が楽しいと思うことは、英語のゲームをすること(91.2%), 外国のことについて学ぶこと(74.1%), 日本語と英語の違いを知ること(70.4%)などが多い。一方、英語の絵本を読んでもらうこと(29.9%)については、授業でやっていないところが多い。

#### ② 指導者について

- ・ 外国語活動の主な指導者は、学級担任(73.0%)である。
- ・ 平成 23 年度中に行われた校内研修の実施頻度は、年 1 回が 30.4%, 年 2, 3 回が 35.2%となっている。実施していない学校は、全体の 22.5%である。
- ・ 要望の高い研修内容は、具体的な活動について共通理解を図ったり体験したりする研修、学級担任による外国語活動の研究授業を参観し、研究授業について協議する研修、デジタル教材の使い方についてなどである。
- ・ 今後の外国語活動の実施に当たっての主な課題として挙げられたのは、準備や打合せの時間の確保(51.3%), 教員の指導力(44.9%), ALT 等の外部人材との打合せ時間(30.0%), 外国語活動に関する教員研修(23.8%)である。

### (2) 小学校外国語活動の充実のための資料

- ① 外国語活動教材「Hi, friends!」の「年間指導計画」及び「学習指導案」(文部科学省)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1314837.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1314837.htm)
- ② 小学校外国語活動における評価方法等の工夫のための参考資料(国立教育政策研究所)  
[http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/shou/11\\_sho\\_gaikatu.pdf](http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/shou/11_sho_gaikatu.pdf)
- ③ ポータルサイト「えいごネット」(財団法人英語教育協議会 文部科学省協力)  
<http://www.eigo-net.jp/>
- ④ 仙台版スタンダード・カリキュラム「小学校外国語活動」(仙台市教育センター)  
[http://www.sendai-c.ed.jp/senkari/syou\\_dl/index.php?m=dp&n=syo\\_curriculum10](http://www.sendai-c.ed.jp/senkari/syou_dl/index.php?m=dp&n=syo_curriculum10)
- ⑤ 仙台市教育センターHP・小学校外国語活動  
[http://www.sendai-c.ed.jp/kyouka\\_link/14gaikoku/index.html](http://www.sendai-c.ed.jp/kyouka_link/14gaikoku/index.html)

※ 「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料(小学校版)」DVDを作成し、配付する予定である。

## 2 Hi, friends!について

### (1) 今後の配付予定

- ① 教師用指導書について、今年度中に市販されるように準備を進めている。
- ② 平成 25 年度に使用する分の教材整備予算は確保済みである。ただし、デジタル教材は配付されないため、各学校で保管する必要がある。平成 26 年度以降の配付については、外国語活動の実施状況を踏まえて検討する。

## 小学校 外国語活動

### (2) 各単元の特徴

#### 第5学年 Hi, friends! 1

単元名	主な活動	扱う主な表現	単元の特徴
Lesson 1	名刺交換をする。	My name is ~. Nice to meet you.	初めて英語に触れる。
Lesson 2	ジェスチャーを使って挨拶する。	How are you? I'm fine.	ジェスチャーの大切さに気付く。
Lesson 3	持っている物の数を尋ね合う。	How many apples? 1~20の数	日本語と英語の相違点を知る。
Lesson 4	好きなものを質問する。	Do you like ~? Yes, I do. I like ~.	初めて文を言う。
Lesson 5	友達にTシャツをデザインする。	What color do you like? I like ~.	形容詞+名詞の表現を言う。
Lesson 6	アルファベット辞典を作る。	What do you want? 大文字	身の回りの大文字に気付く。
Lesson 7	クイズ大会をする。	What's this? It's a ~.	言葉のやりとりを複数回行う。
Lesson 8	夢の時間割を作る。	I study Japanese on Monday.	曜日などの修飾句を含む文を言う。
Lesson 9	ランチメニューを作る。	What would you like?	丁寧な表現があることに気付く。

#### 第6学年 Hi, friends! 2

単元名	主な活動	扱う主な表現	単元の特徴
Lesson 1	アルファベットクイズを作る。	アルファベット小文字 100までの数	身の回りの小文字に気付く。
Lesson 2	誕生日を尋ね合う。	When is your birthday?	日本語と英語の共通点に気付く。
Lesson 3	自分ができることを紹介する。	Can you ~? Yes, I can. I can ~.	様々な動詞に出会い、表現を広げる。
Lesson 4	道案内をする。	Turn right. Go straight.	正確に伝える大切さに気付く。
Lesson 5	行きたい国を紹介する。	I want to go to ~.	理由を交えてまとまった文を言う。
Lesson 6	自分の一日の生活を紹介する。	What time do you get up?	外国との生活のつながりに気付く。
Lesson 7	英語で物語の一部を演じる。	We are strong and brave.	これまで習った表現を再生する。
Lesson 8	自分の夢を紹介する。	I want to be a ~.	中学校での英語学習につなげる。

### (3) Hi, friends!の活用にあたって

- ① 新教材になっても、外国語活動の基本理念は変わらない。外国語活動のねらいに迫るために、学級の実態に応じて教材の扱い方を工夫する。
- ② 文字や文が用いられる単元があるが、「読むこと」「書くこと」を指導するためではない。
- ③ ネイティブ・スピーカーの発音映像は、英語のスキルを育成するためではない。
- ④ Let's Listen では、「音声を途中で止める」、「画面を隠す」などの工夫を加え、児童に言語に対する気付きを促す。正答数を高めることがねらいではない。
- ⑤ ロールプレイングスキットを再生してから Let's Chant を流すと、映像と音声合う。
- ⑥ Let's Chant のカラオケ機能で映像が消えるのは、児童に自由に歌わせるためである。

### 3 小・中・高のつながり

外国語活動で養われる「コミュニケーションへの積極的な態度」は、生涯にわたって英語を学び続けるのに必要な「自ら学ぶ意欲」の支えとなる。

